



～一人ひとりが思いやり 心ふれあうぬくもりのまち～
しゃ きょう

社協だより

Vol.255

平成25年
(2013年)

11

月号

第23回

みんなの社協フェア

11月3日(日)開催!

入場
無料

とき 10時～16時

ところ 高砂市文化会館・高砂市福祉保健センター



にこにこファミリーフェスティバルの様子

ご家族そろって
ご来場ください



記念講演

講演テーマ

「大家族 支え愛
見守り愛 励まし愛」

講師 西川 ヘレン 氏



体験コーナーの様子

主な内容

- P2 特集「社協の地域包括支援センターの業務を紹介します」
- P3 要援護者実態調査を実施します
- P5 小地域福祉部会レポート



子どもから大人まで楽しめる
福祉イベントです。

社協(しゃきょう)に行ってみよう!

～ 社協の地域包括支援センターの業務を紹介します ～

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていけるように、介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から高齢者やその家族を支えています。本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けたいろいろな相談ごとを、適切な機関と連携して解決に努めています。

1 総合相談・支援業務

～高齢者の介護・福祉のご相談～

介護何でも出前講座

介護予防についての相談・支援を目的に、地域に出向いて出前講座(健康や介護保険についての話等)を開催しています。



歌って♪元気アップ



介護予防の一環として音楽療法を取り入れた「歌って♪元気アップ」講座を、地域に出向いて開催しています。

認知症サポーター養成講座



認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域を作っていくために、認知症サポーター養成講座を開催しています。

介護者のつどい

高齢者を介護している家族や介護に関心のある方などを対象とし①介護知識、技術の提供②介護・医療・福祉サービス活用への支援③介護や福祉の知識についての啓発④介護者のリフレッシュを図ることを目的に、講座を開催しています。

2 権利擁護業務

権利擁護事業

市民等からの権利擁護に関する相談に対応し、成年後見制度の利用申し立て等の援助を行っています。また、悪徳商法や不当請求について、地域のみなさんに消費者被害の予防等について学んでいただくために講演会を開催しています。

3 包括的・継続的ケアマネジメント業務

福祉マップづくり

情報支援を目的に、高齢者福祉マップを作成し、市内の主な公共機関(病院・薬局・公民館など)等に配布しています。



施設間ネットワーク

福祉施設間の情報共有と交流を目的に、また適切なサービス提供を円滑に行えるよう研修会を開催しています。

4 介護予防ケアマネジメント業務

要支援1又は2と認定された人に、介護保険の介護サービスを利用できるよう介護予防ケアマネジメントを行い、支援します。また要介護・要支援状態に移行するおそれのある高齢者を訪問し市が実施する『笑顔でよいしょ教室』などへ勧奨しています。

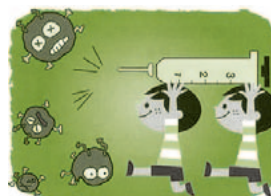
問合せ先

高砂市地域包括支援センター
☎ 443-3723

インフルエンザ対策に努めましょう!



インフルエンザの流行期は、例年12月～3月頃と考えられており、インフルエンザによる死亡者の9割近くが65歳以上の方となっています。一般的な予防対策としては、手洗い、うがい、予防接種等があります。インフルエンザワクチンは接種後に効果が現れるまでに約2週間程度が必要とされるため、一般的には、10月から11月がワクチン接種にもっとも適した時期と言われています。65歳以上の方や呼吸器、心臓、腎臓、免疫のいずれかに障がいをお持ちの方は、かかりつけ医にご相談いただき、早めのインフルエンザ対策に努めましょう!



～誰もが安心して暮らせる町づくりをめざして～

要援護者実態調査を実施します

援護が必要な高齢者等が適切な支援が受けられ、安心して地域で暮らせるまちづくりを推進し、また、災害時における要援護者の救助活動に備えるために、民生委員・児童委員、福祉委員等が調査員となって要援護者実態調査を11月に行います。この調査をもとに、地域での見守り活動の充実を図っていきます。

Q 要援護者実態調査は どんなことをするの？

ひとり暮らし高齢者、高齢者を含む2人世帯、寝たきり者、認知症者、障がい者などのお宅へ調査員が訪問し、ご本人やご家族が困っていること、希望などを聞かせていただく調査です。特に援護が必要とされている方については、専門機関につなげていきます。また、この調査終了後も年間を通じて、地域において、民生委員・児童委員、福祉委員等による見守り・助け合い活動が行われます。

市民の皆さんの
ご理解とご協力をお願いします。

Q 誰が調査をするの？

市と社会福祉協議会が協働で実施します。地域の民生委員・児童委員、福祉委員等に調査員を依頼し、それぞれの地区で、調査員が訪問聞き取り調査を行います。調査の結果は、社会福祉協議会で取りまとめ、管理を行います。調査員は、調査員証を携帯しています。

Q なぜ要援護者 実態調査をするの？

高砂市においても少子高齢化が進むにつれて、援護の必要な方が増加する一方、核家族化や家族機能の変化により家庭における介護力低下の傾向があります。その中で、援護を必要としている人を把握し、地域と専門機関がネットワークをつくって対応していくことが地域福祉の大きな課題となっています。援護が必要な人が、適切な支援を受けられ、安心して暮らせる地域を作っていくために、この調査を地域・社会福祉協議会・市が一体となって行います。

Q プライバシーは 守られるの？

この調査や見守り・助け合い活動などを行うにあたり、誰でも他人に知られたくないプライバシーがあることを調査員は十分理解したうえで、知り得た情報は、その個人の困っている問題を解決することのみに活用します。ただし、緊急を要する時やその人の生命や身体の安全が脅かされる恐れがあると判断した時は、生命や身体の安全を守ることを優先させていただきます。



【「要援護者実態調査」に関する問い合わせ先】

高砂市福祉部 地域福祉室 高年介護課 (TEL 443-9026)
高砂市社会福祉協議会 高砂市地域包括支援センター (TEL 443-3723)

三世代交流「グランドゴルフ」 & 第9ふれあいサロン DVD鑑賞と茶話会を開催

8月20日(火)、小学生の夏休みに合わせ、その保護者と高齢者の三世代交流グランドゴルフをすいせん公園で行いました。熱中症に十分配慮し、グランドゴルフ同好会の皆さんに教えてもらいながら、小学生を含む31名が6チームに分かれてプレーを楽しみました。

一方、グランドゴルフに参加されない方のために、朝日町自治会館を解放。会館に集まった参加者はDVDの鑑賞や談笑を楽しみ、地域のふれあいの良い機会となりました。



△グランドゴルフ同好会の皆さんの協力のもと子どもたちや保護者が一緒にプレーを楽しみ、夏休みの思い出となりました

参加者の皆さんにインタビューしました

グランドゴルフに参加されたAさん

グランドゴルフで爽やかな汗を流し、朝日町自治会館に戻ってこられたAさん。会館で待機していた福祉委員の皆さんに、「いつも催しをしていただきありがとうございます。家では一人なので、サロンをいつも楽しみにしています。」とタオルで汗をぬぐいながら、喜びいっぱいの笑顔でした。

初めて福祉委員になった出口さん

この地域に住んで10年になります。これまでは常勤で看護師の仕事をしていましたが、今は週2～3日のパートになり時間的に余裕ができました。この度の第9期福祉委員について、自治会長でもある部会長さんからお声をかけていただきました。日頃から自治会内の活動を献身的にされている姿に、少しでもお役に立てればと思い、福祉委員を引き受けました。いつかは自分も地域にお世話になる立場と思い、お手伝いをさせていただいています。



△参加者全員で記念撮影（地域交流の場「すいせん公園」）

福祉委員（兼 民生協力員）の安永さん

4月に、地域包括支援センターの出前講座である「認知症講習会」をふれあいサロンで受講しました。「認知症の人や家族の人の相談を受けたらサポーターとしてお話だけでも聞いてあげてほしい」という講師の言葉をうけ、「お話だけでも聞いてあげることができれば」と思い、それ以来、認知症サポーターの証であるオレンジリングを付けて外出しています。



また、第9福祉部会では、部会長さんが率先して皆さんを引っ張ってくれています。サロンでは年々参加者も増え、集いの場である自治会館も手狭に感じるほどですが、朝日町と浜田町の仲もよく、楽しく自由に参加できる雰囲気には満ち溢れています。

グランドゴルフ終了後、全員が自治会館に集合。グランドゴルフの成績発表、なぞなぞで参加者全員（64名）が賞品をゲットしました。

小地域福祉部会レポート

高砂町 第9小地域福祉部会

この特集では、地域福祉の推進組織である小地域福祉部会（以下、福祉部会という）の取り組みや活動を紹介します。

高砂町 第9福祉部会の取り組み（概要）

第9福祉部会は、平成23年6月に高砂町で9番目に発足しました。エリアは朝日町と浜田町の2町で、世帯数は2町合わせて約700世帯。福祉委員は14名。地域内には80名のひとり暮らし高齢者がいます。福祉部会では朝日町と浜田町が役割を分担し、合同開催も含め、年間8回の「ふれあいサロン」（ふれあいいきいきサロン）を開催しています。

また、サロンの開催に合わせて、「第9ふれあいだより」を発行。見守り訪問活動を兼ねて、高齢者宅を訪問し、参加への呼びかけや安否確認を行っています。

中谷 豊 部会長 にインタビューしました

Q ふれあいいきいきサロンを年8回開催され、年々参加者が増えていると聞きました。見守り活動も含めてどのような工夫をされていますか。また、地域の方も含め福祉委員の皆さんが積極的に活動に関わっておられますね。

交流の場づくりを！

工夫その1

行事の企画はしますが、行事の内容にこだわり過ぎることなく、地域の皆さんの「交流の場づくり」を目的に、地域の方が気軽に思いのままに参加できるように心掛けています。

各種団体と連携！

工夫その2

自治会、子ども会、民生委員児童委員、各種同好会と連携し活動をしています。サロンなどの行事には福祉委員以外の地域の方も手伝っていただいています。

広報誌を活用した見守り活動

工夫その3

行事開催案内「第9ふれあいだより」を発行し、民生委員児童委員、福祉委員が高齢者宅へお届けしています。自治会の回覧でも周知し、また、訪問時には安否確認も兼ねてサロン参加の声をかけをしています。

福祉委員相互の信頼関係づくりを大切に♪

工夫その4

福祉委員相互の関係づくりを大切に、自費ですが福祉委員懇親会も開催しています。また、行事で負担にならないよう、時間の都合のつく方が、できることで活動に協力してもらうようにしています。

工夫その5

日頃から公園の清掃活動や地域行事に進んで参加してくれる方との信頼関係づくりに努めています。そのような関係の中からこの度、新しい福祉委員を推薦させていただきました。

行事開催案内や安否訪問（見守り活動）に活用される
第9福祉部会の広報誌「第9ふれあいだより」

平成 25 年 7 月

第9小地域福祉部会
浜田町・朝日町福祉委員

第9ふれあいだより

各位

8月20日(火)
三世代交流「グランドゴルフ」&
茶話会を開催します!!

開始時間 午前8時00分～
開催場所 朝日町すいせん公園
及び朝日町自治会館
募集人数 約40名 申込期限8月15日
品 多数準備あり
参加費 無料

※品物持ち帰り
※水筒持参
※DVD鑑賞～お茶
※冷たいのりべ
※家族一組に相談

第1部 「三世代交流グランドゴルフ」
1. 今回は1ラウンドのみでチーム
及び個人の順位を決定。
2. 雨天の場合はグランドゴルフは
中止し、茶話会とDVD鑑賞に
変更します。

第2部 「茶話会等」
1. 成績発表・最優秀選手
2. ビンゴゲームによる景品抽選
3. 茶話会及びDVD鑑賞会

連絡先 朝日町 新宝 熊子 090-0900
浜田町 中谷 豊 090-0900

第9ふれあいサロン参加申込書
(三世代交流グランドゴルフと茶話会)

平成 25 年 月 日

参加者氏名	住 所	電話番号

生きがい対応型 デイサービス センターだより



デイサービスセンター（高砂町東浜町）

11月の定例行事 申込締切：いずれの行事も3日前まで

午前 10:00～

1日(金) いきいき体操
6日(水) 絵手紙
13日(水) 折り紙
18日(月) うたの会
26日(火) ゆうゆう体操
28日(木) おしゃべり会

午後 1:30～

7日(木) 囲碁ボール⑥
8日(金) コミュニケーション
12日(火) 囲碁ボール④

午後 1:00～

囲碁・将棋 月7回程度
(日程はお問い合わせください)

わくわくフェス

自然観察 バードウォッチング

身近な自然を楽しみましょう！

日 時：11月22日(金)10:00～11:45

場 所：高砂町内～加古川河川敷

※9時50分にデイサービスセンター集合

参加費：100円 定 員：20名

準備物：歩きやすい服装と靴・帽子・
飲み物・(あれば双眼鏡)

申込締切：11月19日(火)

地域出前型
茶話会

わきあいあいサロン

介護予防を目的とした体操やゲームを各公民館で
開催しています。60歳以上の人に参加できます。
お気軽にご参加ください。

北浜公民館 2階 集会室

日 程：11月11日(月)・12月9日(月)

時 間：13:30～15:30

参加費：各150円 定 員：各15名

曽根公民館 2階 講堂

日 程：11月14日(木)

時 間：13:30～15:30

参加費：150円 定 員：15名

米田公民館 1階 集会室

日 程：11月19日(火)・12月17日(火)

時 間：13:30～15:30

参加費：各150円 定 員：各30名

申込締切：開催日の3日前まで

問合せ・申込み

生きがい対応型デイサービスセンター 高砂市高砂町東浜町 1266-1 電話：444-3030

高砂市ファミリーサポートセンターです！

ファミリーサポートセンターでは、「子育ての援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が「依頼・提供・両方会員」となり、お互いに助け合いながら地域の中で子育ての相互援助活動を行っています。

みなさんもファミリーサポートセンターの会員になりませんか？

第23回 みんなの杜協フェア

にこにこ ファミリーフェスティバル



今年も杜協フェアで楽しい時間を過ごしませんか？
ご家族お揃いでご参加ください♪

〈日時〉11月3日(日)10:00～12:00

〈場所〉高砂市文化会館1階 展示集会室

〈内容〉「なかよしコンサート」

「楽しいペープサート」

「エプロンシアター・手遊び」など

※申込みの必要はありません(当日受付)



子育て応援講座

第2回 提供・両方会員フォローアップ講座&情報交換会

より楽しく安心して援助活動を行っていただくための
講座を開催します。ぜひご参加ください。

〈日時〉11月28日(木)13:30～15:30

〈場所〉福祉保健センター3階 集会室

〈内容〉「子どもの病気と対処法」

「提供・両方会員情報交換会」

〈対象〉ファミリーサポートセンター提供・両方会員、
子育て支援に関心のある人

〈定員〉30名

〈託児〉10名(要申込み：1才6ヵ月以上)

〈締切〉11月26日(火)



申込み
問合せ

高砂市ファミリーサポートセンター
TEL 442-0555 FAX 444-3031

若年性認知症の本人とその仲間の交流会「子いるかサロン」の紹介

〔若年性認知症とは〕

認知症というと高齢者の病気と思われがちですが、65歳未満でも発症することがあります。18歳から64歳までに発症する認知症のことを「若年性認知症」といいます。若くして認知症を発症すると、働き盛りで子育て中である世代が、仕事や家事、子育てが十分にできなくなることで身体的にも精神的にも、また経済的にも大きな負担がかかります。

高砂市には、「認知症の人をささえる家族の会 “いるかの会”」がありますが、会員の中で若年性認知症の配偶者を介護しているメンバーの1人が中心となって、若年性認知症の本人やその家族が気軽に楽しく集える交流会「子いるかサロン」を立ち上げました。

サロンでは、若年性認知症の本人やその家族、支援者が集い、楽しく交流しながら互いに日頃の思いを語り、情報交換などを行っています。サロンにぜひ一度ご参加ください。

子いるかサロンの開催案内

どなたでも気軽に
ご参加ください♪



【サロン問合先】☎444-3020（社協）

サロン開催日	場 所	内 容
①12/1(日)・②2/2(日) ③3/2(日) ※いずれも13時～15時	福祉保健センター 2階 障がい児室	日頃の思いを語る会 ※お茶代として 1回100円

若年性認知症のことでお悩みの方
お気軽にご相談ください

ひょうご若年性認知症 生活支援相談センター

※相談内容・秘密事項は厳守いたします。

☎ 078-242-0601

月～金曜日 9:00～12:00

13:00～16:00

※年末年始・祝日を除く

兵庫県社会福祉協議会 内
神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター内

歳末たすけあい募金を活用し、助成を行います

～高砂市共同募金委員会 地域福祉交流事業助成公募案内～

12月より実施する「歳末たすけあい運動」にお寄せいただいた募金により、年末年始に市内で地域福祉交流事業等を行う団体等に対し、下記の要領で助成を行います。

① 助成対象事業：年末年始に地域で行う地域福祉交流イベント等で次に掲げる事業

- ①世代間交流事業 ②障がい者交流事業 ③高齢者交流事業
 - ④子育て支援交流事業 ⑤グループ交流事業 ⑥その他委員会が認めた事業
- ※概ね20人以上で実施すること、歳末たすけあい募金からの助成事業であることを広報すること
歳末たすけあい募金活動に協力すること

② 助成対象団体：概ね市内で組織する団体

- ①自治会 ②婦人会 ③老人クラブ ④民生委員児童委員協議会
- ⑤町福祉推進委員会及び小地域福祉部会 ⑥子ども会 ⑦ボランティア団体
- ⑧その他委員会が認めた団体 ※宗教・政治を目的としている団体、営利を目的としている団体は対象外

③ 事業実施期間：12月1日から翌年1月31日まで

④ 助成金額：実施事業費の1/2で5万円を限度とする

※助成希望団体が予定数を上回る場合は、予算の範囲内とします
事業実施に虚偽等不正があったときは、助成金を返還していただきます

⑤ 申請書類：①地域福祉交流事業助成交付申請書（様式第1号）

②団体概要書及び事業計画書（様式第2号）

⑥ 選考方法：書類審査及びヒアリング（一部）

⑦ 応募締切日：11月15日(金)

※申請書類は、高砂市共同募金委員会事務局まで、または高砂市社協ホームページよりダウンロードできます



応募先
問合せ先

高砂市共同募金委員会事務局（高砂市社会福祉協議会内）
高砂市高砂町朝日町1-2-1（福祉保健センター内） TEL 443-3720 FAX 443-0505
<http://www.takasago-syakyo.or.jp/>

未来にかがやくボランティア



▲障がい者スポーツ体験

障がい者スポーツ競技となっているふうせんバレーボールを行いました。車イスに乗る参加者を周りのメンバーがサポートする姿も見られました。

▶レクリエーション体験

様々なレクリエーションをする中でコミュニケーションをとることの大切さを学びました。



▼朗読ボランティア体験

絵本の読み合わせの後、実際に録音までを行いました。アイマスクをしてお弁当を食べましたが難しい!!



今年も市内に在住・在学の小・中学生を対象に、「チャレンジユニバボランティア2013」、また高校生以上の学生を対象に「サマーボランティア教室」を開催しました。夏休み期間を利用してボランティア活動への啓発を図ることを目的にするもので、今年度は計37名の方が参加されました。参加された皆さんは、この貴重な体験を今後のボランティア活動や進路にぜひ活かしていただきたいと思います。

避難所生活を考えよう！HUGで模擬体験

8月22日(木)、災害時の避難所運営を体験するプログラム「避難所運営HUG(ハグ)」をひょうご防災特別推進員の小柳美喜男氏の指導の下、行いました。HUGは東海地震に備えて静岡県が平成19年度に開発したカードゲーム式のプログラムで、学校の間取りをプリントした平面図を「避難所」に見立て、被災者約200人に対する迅速・的確な収容を目指します。続々と押し寄せる避難者の誘導に参加者は様々な意見を出し合いながら対処法を考えました。



避難所運営の難しさを模擬体験した防災ゲーム

「迅速に、的確に判断して指示するのはとても難しかった。これがじっさいの災害時だともっと混乱すると思った。」「色々なことに積極的に協力していき自分達にできることを見つけていきたい。」
(アンケートより)

いつ、何時、どこで起こるかもしれない自然災害。いざ！という時のために自分ができること、みんなで力をあわせてできることを、今もう一度考え、防災・減災へとつなげていきましょう。

町内会・自治会・学校などへHUGセットの貸し出しを行っていますので希望する場合は、ボランティア活動センター（TEL 442-4047）までお問い合わせください。

高砂南高等学校 東日本大震災復興支援活動で宮城県へ



小田の浜での清掃

◇津波が一瞬で消したものは人間が時間をかけて取り戻していかなくてはいけない。そんな自然災害も乗り越えて今、復興に向かって頑張っている東北の人たちを尊敬していかねばならないと思うし、手伝いなど自分ができることをしていかなければならないと思いました。

【生徒の感想】
◇あの震災、あの津波がもしもこの地域で起こっていたら、自分たちはいつも通りの生活を送れていないかも知れない。東北に行った時に思ったことを皆に伝えて一人一人があの震災の悲惨さを忘れないようにしたいです。



田中浜での清掃

8月1日から4日まで、高砂南高等学校野球部と生徒有志17名が宮城県気仙沼市へ東日本大震災復興支援ボランティアに参加しました。
現地では気仙沼市復興ボランティアセンターの指示のもと、離島の大島において、田中浜と小田の浜の清掃を行いました。強い陽射しの中、生徒たちは一心不乱に作業を続ける姿がありました。

ボランティア リレートーク vol.10



笑顔がすべて!!

このコーナーは、市内でボランティア活動をされている方に、その魅力について語っていただきました。
第10回は木村省三さんをご紹介します。

☆ボランティアを始められたきっかけは？
現役時代からボランティアをしたかったのと、ある雑誌をきっかけに一步を踏み出しました。
終戦直後のどん底の中、まわりの人から受けた親切や優しさに対して少しでも返して行きたいと思ったからです。

☆どのような活動をされてきましたか？

活動を始めて10年になります。小規模作業所でタオル・靴下の箱詰め作業の補助ボランティアからスタートしました。その後「永く続けられるボランティア」としてサウンドテーパーレンス（STT）で視覚障害者のサポートを始めました。平成16年に「朗読ボランティア養成講座」を受講した後、デイサービスや障害者施設で読み聞かせに行きました。

また、子どもが好きなので「子育て支援センター」や「児童デイサービスセンター」などで保育ボランティアや居住地交流にも積極的に関わっています。

☆活動中のエピソードは？

ある施設に行った時車椅子の方に

「何しに来たんや、帰れ」と言われ、その後は遠くから笑顔で挨拶。ほかに荒っぽい方がいましたが、笑顔で挨拶をしていたら同じ趣味（野球）で話しが盛り上がる関係になりました。「笑顔」は大切だと改めて思いました。子育て支援センターのクリスマス会でサンタクロースに扮して子どもたちが喜んでくれた。「本物のサンタ」になった気分でした。デイサービスセンターのお花見に同行した時「帰りに文字盤で「またきてね」と言ってもらいとても嬉しかったです。

☆活動の魅力は？

笑顔になれる。健康管理にも役立っている。自分が健康でないと続けられませんか（笑）

施設のスタッフさんがボランティアを暖かく迎えてくれるんです。私は一人でも喜んでくれたら満足なんですよ。

☆最後に一言

ボランティアは強制しないこと。喜んでさせてもらう。そして、なにより私の健康を厳しくチェックしてくれる妻のサポートがあつてこそだと思います。

小地域福祉活動 写真展

～各地域では、「ふれあいいきいきサロン」や見守りが必要な方への「ゆうあい訪問活動」等が福祉委員や民生委員の創意工夫により、活発に行われています。今回は、8月～9月に開催された活動の一部をご紹介します。～



◆高砂町
第6福祉部会(8月22日)
お菓子を頂きながらお喋りに花が咲き、ゲームや懐メロの合唱で大盛り上がり



◆荒井町
小松原団地福祉部会(8月27日)
「天繁」にて食事会を開催、多くの方が参加し美味しい料理を頂きながら歓談



◆伊保町
伊保中部福祉部会(8月20日)
金魚の押絵作りをした後、お茶と和菓子で談笑



◆伊保町
伊保南部福祉部会(8月17日)
納涼盆踊り大会で、夜店やビンゴゲーム、盆踊りに参加し大いに盛り上がる



◆伊保町
古沼福祉部会(9月3日)
歌に合わせた「手の体操」と「大型ジェンガ」ゲームをした後、お茶とお菓子で歓談



◆曾根町
東之町福祉部会(8月10日)
「輪投げ」や「囲碁ボール」、「昔の遊び」等で子どもから高齢者まで交流を深める



◆米田町
古新福祉部会(8月2日)
「漢字パズル」や「間違い探し」で頭の体操をした後、上方漫才DVDで大笑い



◆米田町
島福祉部会(9月13日)
ワイワイがやがやとおしゃべりをしながら、折り紙をして楽しいひと時を過ごす



◆米田町
中島三丁目福祉部会(9月19日)
懐かしい秋の歌の合唱と、暖簾の月を愛でながら中秋の名月の雰囲気を楽しむ



◆阿弥陀町
魚橋北福祉部会(8月28日)
人権週間にちなみ人権教育DVDを観賞、人権尊重の大切さを再認識



◆阿弥陀町
北山住宅福祉部会(9月16日)
「おじゃみ取り」や「コップ釣り」等の楽しいゲームの後、食事会で歓談



◆北浜町
牛谷団地福祉部会(8月2日)
手作りのカレーライスで昼食会を開催、各種団体が参加し地域の交流を深める

紙面の都合上、一部の活動のみ掲載しています。この他にも、活動されている地区がたくさんあります。ぜひ、お近くのいきいきサロン等へご参加ください。



善意銀行寄附状況



～あたたかい善意をありがとうございました。高砂市の福祉活動に役立てます。～

2013.9.1～9.30

※敬称略

一金銭の部一

地区	氏 名	金額(円)	備 考
高 砂	高砂高校生生徒会・ジャズバンド部・PTA	171,299	第31回青春チャリティーコンサートによる生徒会・ジャズバンド部募金・PTAバザー収益金・ひまわり高砂・ステップハウス・NPO法人高砂ワークハウスつばさ・あすなろ学園保護者会・高砂西保育園父母の会・荒井保育園父母の会・児童学園父母の会へ各15,000円 わかば学園へ10,000円 社協へ56,299円
	玉 野 俊 行	2,000	
荒 井	自 由 空 間	5,260	皆様からの不用品の売上
伊 保	匿 名	1,000	
曾 根	曾根地区青少年健全育成協議会	18,470	
米 田	天 満 了	10,000	
	匿 名	10,000	
	匿 名	10,000	

地区	氏 名	金額(円)	備 考
その他	(一社)兵庫県宅地建物取引業協会	9,819	不動産フェアの募金活動
	加 古 川 支 部 治 夫	5,000	※郵送

一物品の部一

勝地 三夫	タオル9枚・靴下27足・毛布1枚 (新品)
三菱製紙(株)高砂工場	要約筆記用ノート用紙@500枚×6包
匿名	下着21枚 (新品)
匿名	固形石ケン128コ

一外国コイン・古切手・使用済みカード等一

(株)岸本印刷所・高砂市役所健康文化部健康増進課・安藤興業(株)
株優和・高砂市職員組合 松岡 道男・匿名

※善意銀行への寄附金は税額控除が適用されます。

【東日本大震災救援募金者名簿】

※平成25年9月1日～9月30日まで受付分 (敬称略)
カラオケ喫茶 慕情 60,248円

生活福祉資金貸付制度のご案内

この貸付制度は、低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、その必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社会福祉協議会による相談支援を行うことによって、社会参加の促進を図る制度です。(慢性的な生活費の不足は対象になりません)



資金の種類	貸付限度額	資 金 使 途
福 祉 資 金	福 祉 費 ※使途(資金の目的)により、目安となる額・期間が定められています。	低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯が日常生活を送る上で、又は自立生活に資するために、一時的に必要なと見込まれる経費 ・日常生活を送る上で必要な福祉機器の購入にかかる費用 ・障がい者の通院、通所等に使用する自動車の購入にかかる費用 ・住宅のバリアフリー化等の増築、改築、拡張、補修、保全にかかる費用 ・疾病の療養に必要な経費 など
	緊 急 小 口 資 金 10万円以内	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける費用
教育支援資金	教 育 支 援 費 高校 月額3.5万円以内 短大等 月額6万円以内 大学 月額6.5万円以内	低所得世帯に属する者が高等学校、大学(短大及び専修学校を含む)等に就学するのに必要な経費
	就 学 支 度 費 50万円以内	低所得世帯に属する者が高等学校、大学(短大及び専修学校を含む)等への入学に際し必要な経費
総合支援資金	生 活 支 援 費 二人以上の世帯 月額20万円以内 単身世帯 月額15万円以内	失業者等の低所得世帯で、日常生活全般に困難を抱えている方の生活再建に必要な費用
	住 宅 入 居 費 40万円以内	同世帯の住宅の賃貸契約を結ぶための費用
	一 時 生 活 支 援 費 60万円以内	同世帯の生活を再建するために一時的に必要な費用
不動産担保型生活資金	不 動 産 担 保 型 生 活 資 金 不動産土地評価額の7割 月額30万円以内	一定の居住用不動産を有する高齢者世帯に、当該不動産を担保として生活費を貸付ける資金
	要 保 護 世 帯 向 け 不 動 産 担 保 型 生 活 資 金 不動産土地評価額の7割 (集合住宅は5割)	一定の居住用不動産を有する要保護高齢者世帯に、当該不動産を担保として生活費を貸付ける資金

※借入申込みに当たっては、資金種類毎に要件が定められています。詳細は兵庫県社会福祉協議会のホームページをご覧ください。高砂市社会福祉協議会にお問い合わせ下さい。

※申込みにあたっては原則として1名の連帯保証人が必要です(緊急小口資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金は不要です)。

※この制度は、実施主体である兵庫県社会福祉協議会において貸付審査を行いますので、審査上貸付できない場合があります。

申込み・相談窓口

高砂市社会福祉協議会
(生活福祉資金担当)

TEL 443-3720

～健康づくり・仲間づくりの第一歩として、ぜひご参加ください～

いきいきはつらつ応援講座

美味しく食べて免疫力UP！健康料理教室

日 時：11月14日(木) 10:00～14:00
場 所：中央公民館 2階 調理室
対 象：概ね50歳以上の方
内 容：調理実習と健康講話
講 師：高砂いずみ会 会長 富士原恵子 氏
参加費：500円(材料費)
定 員：15名(定員になり次第締め切り)
持ち物：エプロン・ふきん・三角巾(バンダナでも可)・筆記用具

申込み・問合せ先

高砂市社会福祉協議会
☎ 444-3020

発達障がい児・者サポート ボランティア入門教室

発達障がい児・者の支援を目的としてサポートするボランティアを養成するために開催します。

期 間：11月21日(木)～12月12日(木)
全4回
場 所：福祉保健センター 3階 会議室1
市内福祉施設、他
対 象：発達障がい児・者への理解を深めたい方
ボランティア活動に興味のある方
20名
参加費：500円
締 切：11月14日(木)

問合せ先

高砂市ボランティア活動センター
☎ 442-4047

登録型ヘルパー等募集！

未経験者やブランクのある方も大歓迎！
丁寧に指導しますので安心してご応募下さい！

職 種：①ホームヘルパー②ガイドヘルパー
資 格：①ホームヘルパー2級以上または介護福祉士
②同行援護従業者養成研修課程修了者
または、視覚障害者外出介護従業者
養成研修修了者
勤務体系：①②直行直帰 登録型(希望の曜日・時間)
賃 金：①生活援助 1,058円～/時給
身体介護 1,450円～/時給
②980円～/時給
※早朝、夜間、日祝/割増
※経験年数・資格により昇給
※有給休暇、移動手当、処遇改善手当あり
その他：自動車やバイク、自転車等で活動できる方
条 件：週3日程度働ける方(時間は相談に応じます)

※まずは、電話でお問い合わせください。

申込み・問合せ先

ふれあい訪問介護事業所
☎ 443-3408



耳より ホットライン

～介護でお悩みの方、気軽にご参加ください～

認知症の人をささえる家族の会 「いるかの会」

認知症の方の口腔ケアについて学ぶ研修会です

日 時：11月18日(月) 13:30～15:00
場 所：福祉保健センター 3階 会議室1
内 容：口腔ケアについての研修会
講 師：中野歯科医院 院長 中野 敬輔 氏
定 員：20名(定員になり次第締め切り)

申込み・問合せ先

高砂市社会福祉協議会
☎ 444-3020

～家族の介護をされている方、一緒に悩みを分かち合い
共感し合える仲間と交流しませんか～

高砂市支えあう介護者の会 「すずらの会」

日 時：11月21日(木) 13:30～15:00
場 所：福祉保健センター 1階 健康教育室
内 容：高砂市地域包括支援センター・高砂市
地域包括支援協力センターとの交流会

申込み・問合せ先

高砂市保健センター
☎ 443-3936

ひとり暮らし高齢者食事サービス事業 見積参加事業者の募集について(お知らせ)

社会福祉協議会では、高齢者福祉の向上を目的に、概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に栄養面に配慮した食事の提供と安否確認を兼ねた配食事業を実施しています。

この度、平成26年4月1日から3年間の調理・配食業務委託事業者の選定にあたり、見積参加事業者を募集します。

詳しくは、下記までお問い合わせいただくか本会ホームページをご確認ください。

問合せ先

高砂市社会福祉協議会
☎ 444-3020